

社评：回应美方施压，中国筹建新的清单制度（社説；米国の圧力に対応、中国新リスト制度を準備）

2019-06-08 23:12 環球時報（環球時報）

<p>据新华社报道，国家发改委正牵头组织研究建立国家技术安全管理清单制度，具体措施将于近期出台。建立这一清单制度显然与不久前商务部宣布建立不可靠实体清单制度有关。这既是中国加强经济安全长期制度性建设的又一举措，也对当前反制美国针对中国一些高科技企业进行技术限制和断供具有现实意义。</p> <p>虽然相关细则还未公布，但可以预期，该法将对保护中国高科技企业发挥对外威慑作用，将使管理对外技术出口有法可依。去年以来美国多次动用其国内法对中国高科技企业施加压力，中国的反制斗争需要更多法律杠杆，这使得我们出台新的法规和制度不仅必要，而且非常紧迫。</p> <p>中国的相关立法并非一张白纸，《国家安全法》等法律法规已有一些相关规定。过去中国对这类法规的执行比较弱，建立国家技术安全管理清单制度既有助于对相关法规进行提炼，让警示更有力量，也必将促进执行层面的强化。</p> <p>当今世界的工业格局是个复杂的供应链体系，虽然美国占据很多技术领域的高端位置，但中国是全球最大的制造业基地，我国掌握、创新了很多实用技术，全球供应链不可能离开中国这个大环节，中国有能力通过一些技术管制对美国企业的供应链完整造成冲击。如果美国不断深化两国在供应链上的冲突，那一定是一场翻江倒海的混战，未来的损失将是什么样的情形和格局，今天很难预测。</p>	<p>新華社報道によると、国家發改委は国家技術安全管理リスト制度制定に向けて研究作業の組織をリードしており、具体的措置内容は近日公表される。本制度は、商務部が最近制定を發表した「信頼できないエンテティリスト」制度と関係するもの。中国が長期的な經濟安全保障強化に向けて進めている制度化であるとともに、米國が最近中国の一部のハイテク企業へ技術と物品供給に制限をかけてきたことへの報復という意味も持っているということである。</p> <p>細則はまだ發表されていないがおそらく、中国のハイテク企業の保護に当たっての対外的な抑止力となり、また技術の輸出管理のための根拠法になるものと予想される。昨年来米國は何度も国内法を以て中国のハイテク企業に圧力を加えてきたが、中国がこれに反撃するにはより多くの法律の梃を用意することが必要である。すなわち我々が新しい法令・制度を打ち出すのは、必要なだけでなく、極めて差し迫ったことなのである。</p> <p>この方面について中国に全く法令がないわけではない。《国家安全法》など一連の規定は既に存在している。とはいえこれまでの中国におけるこの種の法規の執行は弱く国家技術安全管理リスト制度の制定は、関連法規を洗練し、抑止機能を向上させるのに有効で、かつ執行力の強化を促進するものとなる。</p> <p>現在、世界の工業システムは複雑なサプライチェーンをなしている。たしかに米國は多くの技術分野でトップの位置を占めてはいるが、中国は世界最大の製造業基地であり多くの実用技術を掌握・刷新するようになってきた。世界のサプライチェーンは中国という鎖の1コマなしには成り立たず、中国はこの技術管理を通じて米國企業がサプライチェーンを完成するに当たっての拒否権的能力を有しているのである。もし米國が引き続き両国間のサプライチェーンの衝突を大きくするというなら、事態の混迷は怒濤の如く留まるところを知らず、将来の損失がどうなるか予想もつかない。</p>
---	---

中国日前发出可能向美国断供稀土产品的信号。虽然美国可以采取各种方式缓解这一冲击，但那将是一个对美来说非常麻烦的过程。中国不仅是世界最大的稀土生产和出口国，而且我们的稀土提炼技术也领先于世界。

美方宣扬一些外资企业将撤出中国前往东南亚国家，然而他们想得太简单了。把东南亚国家变成美国围堵中国的屏障，不仅违背了东南亚国家的意愿，在技术上也有很大难度，更是中国决不会允许的。中国有足够的能力和手段挫败美方为此而开展的布局。

中国将建立不可靠实体清单和国家技术安全管理清单制度，不意味着我们会有朝一日就滥用它们，随意打压与中国开展正常合作的外国企业。中方始终珍惜改革开放的大环境，维护所有同中方正常合作企业的利益。中国新建立的机制必将严格限定在维护中国国家安全的范畴，只有那些以实际行动危害了中国高科技企业安全和国家安全的外国公司才会成为我方打击的对象。

有人会说，这样的法规会产生一些模糊性，可能给中国“选择性执法”留下空间。我们想说的是，所有法规都存在模糊地带，任何国家的司法机器要想选择性采取行动都能做得到。问题是，中国这么多年“选择性地”惩罚哪家外国公司了吗？中国改革开放的诚意是我们公平执法的关键保障，倒是美国一直在提供不公正、选择性执法的最大实例。

中国は最近、米国へレアアース製品を供給停止するかもしれない旨のシグナルを送った。レアアースについて米国は色々手を尽くして問題を緩和することはできるだろうがそのプロセスは米国にとり相当に面倒なものになるであろう。中国は世界最大のレアアースの製造産出国であるだけでなく、その精製技術においても世界をリードしているからである。

米国は一部の外資企業が中国から撤退し東南アジアに向かっていることを吹聴しているが、それはあまりにも単純な思考法と言える。東南アジアの国々を中国封じ込めに使うというのは、それらの国々の意向と矛盾し、技術的に大変困難であるとともに中国としても許容できるものではないからだ。米国がこの線で作戦を展開するなら中国はこれを打ち砕く能力・手段を持っているのだ。

中国は「信頼できないエンティティ」と「国家技術安全管理」のリスト制度を制定しようとしているが、それは何かあったときにこれらを濫用してほしいままに、中国と正常な協力を勧めようという外国企業を圧迫しようということではない。中国が改革開放の環境を大切に思い、中国と正常な協力をを行うすべての企業の利益を守るということは終始一貫しているのである。新たに定められる制度の適用は、中国の国家的安全保障の範疇に厳格に限定されるものであり、その実際の行動が中国のハイテク企業・国家安全保障に危害をもたらす外国企業のみが、規制の対象となるのである。

こうした法規は曖昧さを産み、中国にご都合主義的発動を許すのではないかと疑問を呈する人もいるであろう。しかし思うに、いかなる法規にも曖昧性はつきものであり、どこの国の司法制度にしてもその気になれば裁量の運用は可能なのである。肝心なのは、中国がかくも長い期間、御都合主義で懲罰を下した企業など存在しないのではないかと、ということなのである。改革開放の誠意こそ、我が国の公平な司法運用のキーとなる基本線だったのだ。一方米国ときたら、一貫してアンフェアでご都合主義的司法運用をやってきた最大の実例ではないか。

<p>人们看到，美国的司法工具被任意用来维护它的一己私利和全球霸权，实施各种长臂管辖，它的国家安全与霸权是划等号的。而中国既无那样的野心，也没有滥搞长臂管辖的意愿，中国赋予国家安全的含义与所有国家对它的理解是相通的。世界现在要防范的是肆意打乱全球供应链的美国，而非采取战略防御并不得不开展一些关键反击的中国。</p>	<p>米国の司法制度が彼らの私利と国際覇権を守るための御都合主義で運用され、各種の域外適用が行われ、彼らの言う安全保障が実は覇権を意味することは、見ての通りである。一方中国にはそのような野心はなく、域外適用を濫発する意思もない。中国が国家安全保障といえば、それはすべての国が理解するところと同じである。世界が今気を付けるべきは、世界的サプライチェーンを乱そうとする米国の方であって、自衛の戦略として一連のヘン劇に追い込まれた中国ではないのである。</p>
--	---

(<http://opinion.huanqiu.com/editorial/2019-06/14971337.html?agt=16357>)